



岡山産業保健総合支援センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第97号 2016年3月1日(火)



I N D E X

1. 『ストレスチェック制度の
「高ストレス者に対する面接指導」に係る研修会』のご案内

2. 相談員便り
『転倒予防の話』
中村武博 相談員

3. センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内）
*平成27年度研修会のご案内
*岡山労災病院、岡山医療センターでの産業保健研修会

4. 岡山・倉敷地域産業保健センター移転のお知らせ

5. 編集後記

□■ □■ □■ メールアドレス・ホームページアドレス変更の予告 □■ □■ □■

4月1日をもって、岡山産業保健総合支援センターのメールアドレス、ホームページアドレスが変更されます。

新しいメールアドレス、ホームページアドレスにつきましては、3月中旬にメールで皆様にお知らせいたします。

1. 『ストレスチェック制度の
「高ストレス者に対する面接指導」に係る研修会』のご案内

「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を使用しての講義、ストレスチェック実施時の注意点、質疑等。受講料無料です。

※産業医の方は、生涯研修更新1.5単位を取得できます。

4月16日(土)19:00~20:30 おかやま西川原プラザ大会議室A

5月15日(日)14:00~15:30 ライフパーク倉敷1階視聴覚ホール

5月25日(水)15:00～16:30 ピュアリティまきび白鳥
6月11日(土)14:30～16:00 津山市医師会
6月23日(木)14:00～15:30 ピュアリティまきび白鳥
7月02日(土)14:30～16:00 高梁国際ホテル四季
7月02日(土)19:00～20:30 ライフパーク倉敷1階視聴覚ホール

申込はこちら

<http://www.okayama-sanpo.jp/16-sc.html#16-sc-1>

2. 相談員便り

『転倒予防の話』

旭化成ケミカルズ株式会社水島製造所
産業医 中村武博

近年、工作中的転倒が原因で4日以上仕事を休んだ方は、年間2万5千人を超えています。この数字は、挟まれ・巻き込まれや転落・墜落による労災よりも多く事故別労災のトップです。さらに労働人口の高齢化により、ますます増加するのではないかと危惧されています。そのため、厚生労働省は平成27年1月から「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」を開始しました。平成27年度の転倒労災件数は昨年度より若干減少することが見込まれているようですが、依然として事故別件数の中では最多となっていますので、厚生労働省は今年から期限を設けずにこのプロジェクトを継続することを決めました。

このような背景がありますので、産業保健スタッフとして職場の転倒予防活動に関わる機会が増えることは間違いありません。すでに産業保健スタッフとして何か出来ないか悩まれている方や事業所から「転倒予防対策について考えて下さい」と依頼されて困っている方も多いと思います。では、産業保健スタッフとして転倒予防にどのように取り組めばよいのでしょうか？

厚生労働省のパンフレット等を参考に対策を検討されるのも一つの方法だと思いますが、何から始めればよいか迷っている場合には、まずは職場の状況について確認することをお勧めします。すでに転倒予防対策を実施している事業所においても産業保健スタッフが新たな視点で網羅的にチェックすることは大変有意義です。意外な落とし穴に気付くこともありますし、できている（できていない）ことが明確になり、職場のニーズや課題を把握することができます。確認方法は色々あると思いますが、ここでは労働衛生3管理の観点から主なチェックポイントを列挙しておきます。

1. 作業環境管理

- 通路は適宜補修されているか、躓きやすい状態が放置されていないか
- 段差を解消するための設備改善（ハード対策）が実施されているか
- 床が滑りにくい素材になっているか、滑りやすい状態が放置されていないか
- 床が濡れないなどの設備改善（ハード対策）が実施されているか
- 階段や段差に手すりが設置してあるか

●照明は適切か、暗くて足元がよく見えない場所はないか

2. 作業管理

●3S（整理・整頓・清掃）が徹底されているか、通路に段ボールなどが仮置きされていないか

●靴底に滑り止めがあるなど、転倒予防を考慮した履物を選んでいるか

●階段では手すりを持つ、仕事中に走らないなど安全行動が遵守されているか

●職場で転倒し易い場所や作業などが把握され周知されているか

3. 健康管理

●転倒の原因になるような疾病や服薬を把握しているか

●持病等により転倒リスクが高いと考えられる社員に対して適切な配慮がなされているか

さらに、5 管理（上記 3 管理＋衛生教育、総括管理）で考えれば、「転倒予防に関する情報提供や教育が行われているか」や「転倒予防に関するトップの意思表示はなされているか」なども挙げられます（ここに記載した以外にも確認事項はたくさんあると思います）。

大事なことは、その職場における転倒予防対策として何が必要なのか、それを見極めて優先順位の高いものから計画的に実施していくことだと思います。産業保健スタッフが企画・実施する対策としては、転倒予防の体操や体力測定などが一般的ですが、まずは現状を把握した上で、対策を検討してはいかがでしょうか。

中村相談員に相談はこちら

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/02-so.html>

3. センターからのお知らせ（研修）

■ 岡山産業保健総合支援センター主催セミナー・研修会 ■

受講料：無料

会 場：岡山大学鹿田キャンパス医学部

基礎研究棟 1 階小セミナー室（岡山市北区鹿田町 2 丁目 5 番 1 号）

※駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

※シリーズとなっていますが、各研修会単独で受講できます。

企業における「新しい」メンタルヘルス対策について、お話しします。

復職の判断基準を明確化し、人事や医療職が自信を持って対応できるルール作りを進めませんか。

日 時：3/8（火）14：00～15：30

テーマ：『ストレスチェック制度への完全対応 2』

内容：事例を用いて、具体的な対応方法について検討する。

詳細・申込はこちら

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke-z.html>

■岡山労災病院、岡山医療センターでの産業保健研修会■

産業保健に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。
産業医の方は、生涯研修の単位を取得できます。

時間：19：00～21：00

■会場：岡山労災病院（岡山市南区築港緑町 1-10-25）

3月10日（木）『就業基準・復帰基準の設定の仕方』

5月12日（木）『ストレスチェックの実施』

6月09日（木）『医師面接指導のポイント』

7月14日（木）『事後措置のポイント』

詳細、申込はこちら

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

▼研修会の受付は各研修会会場で行います。直接、お越し下さい。

▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。

▼お問合せは、下記アドレス宛にお送りください。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

4. 岡山・倉敷地域産業保健センター移転のお知らせ

◆岡山地域産業保健センター

移転日：3月16日（水）

移転先：岡山市北区駅元町19番2号 岡山県医師会館5階

電話・FAX 番号：086-250-2386

◆倉敷地域産業保健センター

移転日：4月1日（金）

移転先：倉敷市新田2689番地 倉敷市休日夜間急患センター

電話・FAX 番号：086-441-8180

お間違いのないよう、ご注意ください。

5. 編集後記

厚生労働省は、学生アルバイトの労働条件確保のため、監督指導や関係法令の周知・啓発等を行ってきました。学生アルバイトを巡る労働条件や学業への影響等の現状及び課題を把握した上で、より適切な対策を講じるため、大学生等を対象にアルバイトに関する意識等調査を実施し、その結果をとりまとめました。学生アルバイトについて、労働契約の締結の際の労働条件の明示、賃金の適正な支払、休憩時間等の労働基準関係法令の遵守はもとより、学生の本分は学業であることを理解して、学業とアルバイトとの適切な形での両立のため、シフト設定に際しての配慮をよろしくお願いいたします。岡山産業保健総合支援センターでは、労働関係法令の疑問点等に係る解決方法の助言をさせていただいております。詳しくはホームページの「相談」のコンテンツを御覧ください。

.....

次回の第 98 号は 4 月 1 日（金）の配信予定です。